

私の暮らす境町

平成25年度卒 文学部社会学科 石塚 友香

境町は茨城県の県西地域に位置し、千葉県と埼玉県に隣接しています。電車がなく不便という印象を持たれるかもしれませんが、車やバスで駅へ向かえば都心へのアクセスは困難ではありません。圏外道境古河インターを利用すればさらに身近に感じます。今年の7月には境町と東京駅直通の高速バスも開通しました。私も落ち着いたら東京に暮らす友人に会いに行くために是非利用しようと思っています。このように現在の境町では新しい交通アクセスをはじめ、次々と新しい施設などが完成されています。その中の一つ「干し芋カフェ」についてご紹介いたします。こちらの施設は今年5月にオープンし、さっそく私も足を運んでみました。まず目を引くのが建物の景観です。なんと世界的に有名



な隈研吾さんの設計です。境町には隈研吾さん設計の建物が干し芋カフェを含めると6つあります。もちろんカフェで頂いたコーヒータとサツマイモのタルトも大変美味しかったです。まだまだご紹介したいことがあります。世の中が落ち着いたら、皆様ぜひ境町に遊びに来てください。

私の暮らす龍ヶ崎市

平成30年度卒 経営学部経営学科 河野 桃子

2017年4月大学在学中に、2代目龍ヶ崎観光アンバサダーに就任し、就職後の現在も、観光アンバサダーの活動を行なっております。2019年1月には、有難いことにお声かけいただき、商工会主催の文化講演会「中畑清が野球人生」の司会を担当しました。今回は観光アンバサダーである私から、龍ヶ崎市を紹介させていただきます。

● 撞舞 (つくまい)

撞舞は国選択・県指定無形民俗文化財に指定されており、龍ヶ崎の商店街で行われる八坂神社祇園祭の最終日に行われます。撞舞は、2人の舞男が高さ14mの柱の上で逆立ちや大車輪等の妙技を披露したり東西南北に矢を放ちます。舞男が放った矢を拾った方は、1年間厄災から逃れられるといわれています。撞舞の迫力は、映像や写真ではなく直接見ていただくことが一番かと思えますのでコロナウィ



ルスが収束し、安全にお祭りが開催されるようになったら是非、足を運んでいただければと存じます！ ● まいりゅう (龍ヶ崎市のマスコット) 先程ご紹介させていただきました「撞舞の『まい』と龍ヶ崎市の『りゅう』を組み合わせ、まいりゅうと名付けられた龍の男の子です。舞男と同じ衣装を身にまとっており、舞男になるため日々修行中です。龍ヶ崎市をPRするためまいりゅうと一緒にステージに立つと小さなお子様や家族連れの方からお写真を一緒に撮りたいと嬉しいお声を多くいただきます。

龍ヶ崎コロッケやしだれ桜、たつのこ公園等、紹介し足りない魅力がまだまだございますが、龍ヶ崎市の一番好きなところは、「挨拶が多く交わされる」ということです。小学校、中学校と登下校の際には、地域の方々とすれ違う度に挨拶を交わし、大学の通学、通勤ではバスを使用しておりますが、毎朝、バス停で「おはようござ

います。」と同じ地区の方と挨拶を交わしております。

コロナウィルスにより、自宅にいる時間が多くなった今、改めて地域の方との関わりが深いところも、龍ヶ崎市の魅力だなと感じております。そんな大好きな龍ヶ崎市の魅力をこれからも、観光アンバサダーとして皆様へ広めてまいります！

事務局からのご案内

県内在住の卒業生の皆様におかれましては、この状況下大変な毎日をお過ごしかと想像いたします。茨城県同窓会も、感染状況を鑑み、第13回同窓会を延期し、それに伴い役員任期を延長させていただく事をご承知ください。

当会は平成9年に設立総会を開催し約250名の同窓生の参加で、全国26番目の支部として産声を上げました。これまでに12回の総会や講演会、演奏会、大洗での地引網やBBQには東京の同窓生も大型バスで参加してくれました。

又アフターコロナの運営と致しまして左記のようなイベントを企画します。

- まずは第13回総会の開催。
 - 近々の卒業生を招待しての『ウェルカムパーティー』の開催。
 - 評判の良かった『潮干狩り』『地引網』。他では味わえない『茨城オリジナルBBQ』。
 - 定番『ゴルフコンペ』。
 - 女性を中心とした『ティナショー』。
- お子さんやお孫さんを連れてご家族での参加ができるよう、又他の地区のお友達と一緒に参加してみてください。
- その他、皆様の企画を広く募集致します。

会費納入のお願い

日頃より同窓会活動にご理解とご支援を頂きまして心より感謝申し上げます。主な会費は会報の発行、各地区イベント補助等に活用させて頂いております。全国的な傾向のようですが、会費がなかなか集まらず活動の活性化が今ひとつ進まない状況のようです。会報さえ出せば出来ないと支部もあります。当会では大学本部の会報発送時に同封していただいておりますので、郵送費をカットしております。イベントの案内を出すにしても5400名近くのハガキだけでも30万円以上になります。イベントの参加者負担とはいかないのです。どうぞ現状をご理解の上、皆様の会費納入、ご寄付をお願い致します。会報に同窓会費払込用紙を同封させていただきます。よろしくお願ひ致します。

「支部会費」 2年間で 男性5千円・女性3千円 「振込先」 ゆうちよ銀行 振替口座 0120021669131 駒澤大学茨城県同窓会

編集後記

駒澤大学茨城県同窓会会報常陸17号を大学本部のご支援に依り、茨城のOB5345名の皆さんにお届けできる事となりました。今回コロナ禍で何もできない状態なので、カラーA4、4ページで作成致しました。リニューアルされたHPのアドレスを掲載しておりますのでご覧ください。又記事や住所変更等、事務局迄お知らせください。

お問い合わせ先

支部事務局
染谷時一 TEL 090-3243-7949
FAX 0280-87-0812
神原俊行 TEL 080-5439-4727
FAX 0297-66-7514

インターネット申込(堀博)
piropipro551@ybb.ne.jp

茨城支部
ホームページ

リニューアルしました!

https://komazawa-u-ibaraki.jp



駒澤大学

茨城県同窓会会報
常陸
No.17

KOMAZAWA UNIVERSITY AND KOMAZAWA JUNIOR COLLEGE

ご挨拶

駒澤大学同窓会



昭和50年法学部卒

駒澤大学同窓会茨城県支部長
野村 光造

駒澤大学ご卒業の、茨城県在住の同窓の皆様におかれましては、日頃よりお仕事、ご家庭にと、公私にわたりご活躍のことと、心よりお慶び申し上げます。

同窓会茨城支部は、平成9年(1997年)に発足いたしました。24年の歴史を経て現在に至っております。これもひとえに同窓の皆様のご理解とご支援、歴代支部長はじめ役員の皆様のご協力と、同窓会本部のご指導のおかげと、支部を代表しまして厚くお礼を申し上げます。

昨年からの新型コロナウイルス感染症が、世界中に流行してしましました。皆様におかれましては、大変なご苦労の多い日常をお過ごしになられている事と存じます。現在在学生の学業及び生活もままならず、苦難を強いられていることを思いますと、胸が痛みます。今年の箱根駅伝の13年ぶりの総合優勝は明るい出来事でした。

支部事務局では、ホームページのリニューアルに取り組み、支部沿革とリンク集を追加していただきました。活動記録もありますので是非ご覧ください。

令和3年6月19日(土)に全国支部長会が大学キャンパスで開催されました。私はリアル出席でしたがWEB参加もありました。令和3年4月1日現在で茨城県支部同窓会数は、5345名(内女性会員1601名)内卒業生は129名(内女性46名)となっております。4年前に「女性の会」が発足しました。是非この機会に茨城県支部に、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

最後になりますが、皆様とご家族様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

駒澤大学女子部会



昭和43年短大国文科卒
駒澤大学女子部会茨城県支部長
杉浦 啓子

全国で、北海道から沖縄までの都道府県、及び、台湾を含て49女子支部が設立され活動しています。

茨城県支部においても女性会員が1600名、いらつしやいます。第1回の集いを土浦市にてランチ会を催し、楽しいひと時を過ごしたことができました。

コロナ禍終息後には、再度親睦ランチ会を開催し、交流を深めてまいりたいと思います。但し茨城県支部の場合は地域が広いので、地域ごとに開催してはどうかとも思っております。また、大学見学会や他県との交流会並びに講演会等も会員の皆様と相談し、計画、実行していければと考えております。

2年前にさかのぼりますが、令和元年10月に第4回女性役員会が北海道苫小牧で行われ、私も参加いたしました。会議では女性支部会開催にあたっての質疑応答、意見交換会があり、駒澤大学付属苫

第13回 同窓会支部総会が延期になりました。

役員任期を延長致します。詳しくは裏表紙(4)「事務局からのご案内」をご覧ください。

次回、総会が開催された時には、皆さんの元気な笑顔が載りますよう、事務局一同、祈っています!



小牧高校校長笹島先生の講演もあり、懇親会でクラブのパフォーマンスをしていたたく生徒の紹介と教育現場での現況についてのお話をいただきました。ご紹介いただいたパフォーマンスは吹奏楽部とチアリーディング部の2部門で、演奏・実演は素晴らしく感激いたしました。その後に行われた「食事」をしながらの交流会」同窓生と

いうだけで打ち解け、楽しい会を過ごせました。翌日に、前夜テーブルの同席いたしました愛知、岐阜の役員の方々からお声を掛けて頂き、飛行機の出発までの間に支笏湖を散策し、とてもきれいな紅葉を鑑賞でき、北海道の秋を満喫してまいりました。今後も、みなさまと共に女子部会を続けて行きたいと思っております。



NPO法人ハート・オブ・ゴールド
有森 裕子 様

スポーツや教育を通して、困難な状況にある人々、子どもが自らの力で課題を解決できるように人材育成、自立支援を行うNPO法人ハート・オブ・ゴールド代表理事。かすみがうらマラソン時に茨城県同窓会の方々と共に駒大陸上部歓迎会に毎回出席し交流を深めています。



シャンソン歌手
黒木 悦子様 (S52 文学卒)

日常が戻りましたなら、茨城のOBの皆様とお会い出来ます事を楽しみにしております。それまで元気で頑張ってください。



東北福祉大学特任教授
福岡 政行 様

土浦や水戸の総会で講演をした事を憶えています。ライフワークとしているボランティアも、現在コロナ禍にて思うようにできませんが、また皆様にご協力をお願いしたいと思います。



潮干狩

10年くらい続いていた千葉支部主催の“潮干狩”。金田海岸の海の家を貸し切り、神奈川・東京・茨城からバスで集合して子供からおじいちゃん、おばあちゃんまで一緒に楽しみました。中畑清さんも家族で参加していました。

設立総会

みんな若い!! 一般の方にも公開しました。中畑清さん福岡政行先生の講演会・チャリティーオークション、ホテルマロウドの大広間に入りきれないほどの方々が訪れました。県知事や土浦市長にも参加いただきました。テレビ朝の藤井暁アナの同会、応援指導部“ブルーベガサス”が花を添えました。



バーベキュー

第3回総会や花見の会で茨城支部自慢の特製BBQ。水海道“あすなの里”で地元の子豚の丸焼き・常磐牛・那珂湊からの魚貝類。食材豊富な茨城ならではのBBQ、もう一度再現したいですね。栃木支部・東京支部からも来県。



第2回総会

県都水戸で開催された第2回総会にはOBの石毛宏典さんやシャンソン歌手の黒木悦子さん、藤井さん、福岡先生も設立に続いて参加いただきました。



▲ **ゴルフコンペ** 毎回近隣の支部からも参加いただき盛大に開催されています。次回もゲストをお呼びして楽しくやりたいと思います。



駒澤大学茨城県同窓会交流パーティー



かすみがうらマラソン

毎年土浦市で行われる“かすみがうらマラソン”参加される有森裕子さんと駒大陸上部の選手・大八木監督・コーチをお招きして前夜祭・激励会を開催しています。

思い出のアルバム



懐かしい顔! 顔! 顔!
またみんなで会いましょう!



駒澤女子み～んな集まれ!

OGの皆さん、コロナが落ち着いたらダンナさんと彼氏の愚痴をこぼしにきくと来てねー!



こんなこともありました!!

毎年境町で開催されるふるさと祭りに、中畑清さん、プロゴルファーの飯合肇さん、日テレの関谷アナとシンガーソングライターの松山千春さんが参加しました。各地の同窓生が多数押しかけました。当日の利根川河川敷は、5,000人超の人が集まり、夜の花火まで楽しみました。



県内各地区の新年会

県南地区の新年会には石毛宏典さん、県西地区の新年会には芸人さんたちがゲストとして参加してくれました。



スポーツコメンテーター
中畑 清 様 (S51 経営卒)

茨城県同窓会には設立総会、第3回総会にはおかあちゃんと一緒に野外のステージに立ちました。他にも野球教室や講演に何度か行かせていただきました。又お会いしましょう。



スポーツコメンテーター
石毛 宏典 様 (S54 経営卒)

現在ユーチューバーとして月一配信をしています。何度か参加させて頂いた茨城県同窓会では楽しい思い出がたくさんあります。コロナ収束後はまた呼んでください。



テレビ朝日
藤井 暁 様 (S59 経営卒)

設立総会では司会やチャリティーオークションの進行など中畑さんと福岡先生と一緒に多くの参加者と盛り上がったのを憶えています。毎年境町の“キヨシカップソフトボール”に行っています。



県央地区
高崎 進

昭和59年経営学部卒。先日、息子から連絡があり、某会社の社長との懇談会が予定されており、何を話題にしたら良いかアドバイスを求められました。同会長の社長が駒大OBと知っていた私は、「箱根駅伝」と「父親が駒大OB」とのキーワードをアドバイス。後日息子から、駒大繋がりで懇談会が盛り上がったとの報告がありました。改めて、同窓の縁を大切にしたいと実感しました。コロナ禍の中で様々な制約がありますが、明日への希望を持って前進したいと思います。



県南地区
片岡 光雄

昭和44年法学部卒。つくば市在住。学生時代はサッカー部に在籍し、最高学年時には主将を務め、チームをまとめながら4年間ボールを蹴り続ける毎日でした。卒業後地元に戻り、つくば市役所に就職し同窓会設立当初に市役所に勤務する駒大OBを募り「つくば駒澤会」を立ち上げました。現在も会をまとめるべく、若手発掘を考えております。私生活では地元の子供達を中心にサッカーの魅力を伝えつつ指導をしております。趣味はなぜかスキーです。



県南地区
岡本 迪之

昭和44年法学部卒。かすみがうら市在住。学生時代は今ではそこそこの成績を残している少林寺拳法部。一期生として後輩の指導にあたり、部の礎を築く毎日稽古に励んでおりました。地元に戻り、大好きな夏祭りに参加したり地元の子供達の育成事業にも積極的に取り組んでいます。最近駒大の同窓会にも顔を出していただいているものまね芸人のアントキの猪木さんは息子の親友で高校生の頃は、我が家にたびたび訪れておりました。



県南地区
根本 洋治

昭和50年経営学部卒。牛久市在住。支部設立当初から同窓会に参加させていただき、龍ヶ崎市、取手市、牛久市のOB会にも参加し学生時代の話を楽しくさせていただきました。第7回支部総会は地元牛久シャトーで開催されました。その時駒大野球部終身名誉監督の太田氏が持参したサインバットが当たり、家族で大喜びしました。現在は牛久市長として公務に追われる日々が続いておりますが、初選挙の時から皆さんには大変お世話になりました。



県北地区
大部 勝規

昭和57年法学部卒。高萩市在住。一昨年、当時支部長だった土浦市の飯山孝之氏と事務局長の田角敏雄氏が市長室に表敬訪問に来ていただきました。県北地区の活動を支援するよう依頼され、喜んで副会長を受けさせていただきました。県北地区の同窓生を発掘して少しでも多くの方に参加してもらおうよう活動します。私事ですが2018年から高萩市長を務めております。公務の合間をぬってなるべく会の活動に参加したいと思います。



県央地区
小山 秀夫

昭和56年法学部卒。今日は、令和3年7月29日。コロナ禍の真っ只中にあります。マスクの生活や自粛生活も1年4か月が過ぎ窮屈な毎日です。そんな中、今はオリンピックの開催中であり、日本勢の活躍が連日報道されています。残念ながらそれに伴って、都内における非常事態宣言の効果も薄れ人流減少せず、地方においても同様な現状となっています。しかし、この会報が発行される頃にはワクチン接種も進み、コロナ感染者が減少していることを切に願っています。